

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	学齢期療育相談・支援事業所いーずI			
保護者評価実施期間	令和8年2月18日		～	令和7年3月12日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	13名
従業者評価実施期間	令和8年2月18日		～	令和8年3月4日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
事業者向け自己評価表作成日				

分析結果

	事業所の強み()と思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の計画目標に基づき、職員全員で工夫しながら支援を提供しています。	個々の目標に沿った支援を大切にしており、毎日の朝礼で支援の振り返りを行いながら、日々の支援内容の見直しと質の向上に取り組んでいます。 また、職員間で共通認識を持てるよう、支援内容や目標設定について細かく確認しながら実践しています。 担当制を取り入れ、会議の中で積極的な意見交換を行い、より適切な目標設定につなげています。	スタッフの専門性向上を目的として、法人内外の研修を積極的に周知し、参加を促しています。 また、興味や関心に応じて自主的に研修へ参加できる制度を整えており、職員一人ひとりの意欲や成長に応じた学びの機会を確保しています。
2	将来の地域生活を見据え、その時期に必要なスキルに焦点を当てた支援を行っています。	個別評価をもとに「あと少しでできること」を大切に、段階的に達成できるよう支援を組み立てています。 また、担当職員だけでなく全職員で目標の振り返りや改善点を共有し、チームとして支援の質を高めています。	保護者のニーズやご本人の思いを大切にしながら、個別支援計画の内容について担当職員を中心に日々検討を重ねています。 また、地域生活に向けた情報収集を行い、ご家族へ分かりやすく情報提供できるよう努めています。
3			

	事業所の弱み()と思われること 事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族への情報共有において改善の余地がある点	これまで、支援の様子や内容については保護者様へLINE等を通じてお伝えしてまいりましたが、日々の業務に追われる中で内容が簡素化してしまう場面もあり、情報共有において配慮が十分でなかった点があったと認識しております。	今後は、子どもたちの様子や支援内容をより丁寧にお伝えできるように、連絡帳アプリなどのツールも活用しながら、情報共有の方法を見直していきます。
2			
3			